



アドビ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー

サンダンス映画祭に出品するクリエイターの 85%が選ぶアドビ、AI ビデオ新機能と 1,000 万ドルのクリエイター助成金を発表

- Adobe Premiere と Adobe Firefly アプリがシームレスに連携し、アドビ、Google、OpenAI、Runway などの最新 AI モデルによりビデオ編集チームのアイデア出しやブレインストーミングにおけるコラボレーションを強化
- Adobe Premiere の新しい AI ビデオ機能と Adobe After Effects の主要なモーショングラフィックス機能の向上により、ポストプロダクションワークフローを変革。より強力でシームレスなストーリーテリングを実現
- 将来の映画制作者を支援するため、プロフェッショナル向けビデオツール、キャリア開発、フェローシップ、育成プログラム、トレーニング機会を提供する基金「Film & TV Fund」に 1,000 万ドルを拠出

※当資料は、2026 年 1 月 20 日（米国時間）に米国本社から発表された[プレスリリース](#)の抄訳版です。

【2026 年 1 月 21 日】

アドビ（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、数々の AI 新機能と、キャリア開発への投資による映像クリエイターの支援を発表しました。また、全上映作品の 85%がアドビ製品で制作されたサンダンス映画祭に先立ち、ポストプロダクションをよりシームレスにする新機能を公開しました。新機能には、[Adobe Premiere](#) における AI マスキング機能や、[Adobe After Effects](#) におけるモーションデザインやビジュアルストーリーテリングの可能性を拡大する新しいタ

イポグラフィやマテリアル、3D 機能が含まれます。さらに、Adobe Premiere とアドビの AI 搭載アイデア創出プラットフォーム「[Adobe Firefly ボード](#)」がシームレスに連携することで、アドビ、Google、OpenAI、Runway など業界をリードする企業による最新 AI モデルを活用し、映像制作チームが共同でブレインストーミングやコンセプト探索を効率的に行えるようになりました。

映像制作者やクリエイターが物語を新たな形で表現をしようと模索しているなか、アドビは今年新たに約1,000 万ドルの拠出によって、クリエイターを支援する取り組みをさらに強化します。また、Rideback RISE や Dimz Inc.を新たなパートナーに迎えた他、Group Effort Initiative や Gold House などとの協業も継続します。また、AI をクリエイティブワークフローに統合する映画クリエイターに特化した新たな直接助成金申請制度を開始します。

アドビはまた、デザインおよび画像、動画、オーディオ、モーションクリエーション向けの業界をリードする AI モデルと最高のクリエイティブツールを提供するクリエイティブ AI スタジオ

「Adobe Firefly」においてもビデオ AI 機能の進化を推進しており、Adobe Premiere との新しい統合を行いました。最近の革新的な成果には、**プロンプトベースの編集やカメラモーションの微調整を含む[精密なコントロールを可能にする新機能](#)**（英語）や、軽量のクリエイティブ編集スペースを提供し、クリエイターがブラウザー上で直接、AI 生成されたクリップ、ビデオ、グラフィックス、オーディオを組み合わせ洗練されたストーリーを作成できる [Firefly AI 動画編集ツール](#) のパブリックベータ版リリース、そして、アドビワークフローを横断して次世代 AI ビデオモデルへのアクセスを可能にする [Runway](#)（英語）との複数年にわたるパートナーシップがあります。最新機能により、ビデオプロフェッショナルは、完全なクリエイティブコントロールと業界トップクラスの AI モデルによる多様な選択肢と自由度を持ってアイデアを形にすることができます。

アドビのプロダクトマーケティングおよびクリエイティブプロフェッショナル担当バイスプレジデントであるディーパスブラマニウム（Deepa Subramaniam）は、次のように述べています。「これほど多くの映画制作者がアドビのツールを使って自身の物語を創り上げている姿を見ることができ、私たちは大きな喜びを感じています。クリエイティブコミュニティは私たちのすべての活動の原動力であり、次世代のストーリーテラーのために新機能の数々と投資を通じて最新の AI 動画編集ツールを提供し続けることをお約束します。」

Adobe Premiere、Adobe Firefly ボード、Adobe After Effects における動画編集とモーションデザイン向けの新機能

Adobe Premiere と Adobe After Effects に追加された新機能により、ビデオプロフェッショナルは、これまで時間がかかりすぎて実現できなかった作業に取り組めるようになります。例えば、新しいマスキング機能を使えばロトスコープ処理は数秒で完了します。他にも以下の新機能があります。

- **オブジェクト選択とマスキング機能：**新機能により、オブジェクト選択やマスキング、複雑な被写体のトラッキングが、どのスキルレベルのビデオ編集者でも圧倒的な速さと容易さ、そして直感的な操作で行えるようになります。これにより、映像編集者は、独自のクリエイティブや効果を試行錯誤することに時間を使えます。
- **シェイプマスク：**楕円形、長方形、ペンツールによるマスクが再設計され、顔のぼかしやフレーム内の一部のライティング調整などのエフェクト処理において、より創造的な制御が可能になりました。
- **Adobe Firefly ボードとの連携：**アドビの AI ファースト型コラボレーションワークスペースと業界をリードする動画編集ツールをシームレスに接続。プリプロダクションからポストプロダクションまで、リアルタイムでのアイデア創出とビジュアルプランニングを実現します。また、完成した素材は Premiere に直接送信することで、洗練されたプロフェッショナルな編集が可能になります。
- **ストックパネル：**Premiere に新たに統合された Adobe Stock により、編集者は作業の流れを止めることなく 5,200 万以上のクリップをアプリ内でそのまま検索、プレビュー、ライセンス取得することができます。

Adobe After Effects における主要なアップデートにより、モーションデザイナーやビジュアルストーリーテラーにとって新たな創造の可能性が広がります。

- **ネイティブ 3D パラメトリックメッシュ：**パラメトリックメッシュと組み合わせ可能なシェイプを用いて 3D シェイプを設計・カスタマイズ。新しい「スポットシャドウ」と「平行

シャドウ」により、特定の様式のグラフィックやフォトリアルスティックなセットを実現します。

- **1,300 点以上の無料 Substance 3D マテリアル：**数千点の新しいアセットと、アニメーション可能なプロパティにアクセスし、アプリ内で作成もしくは取り込んだマテリアルに適用することで、高度なモーショングラフィックスが作成できます。リアリズムと高度な創造的コントロールを実現します。
- **バリエブルフォントアニメーション：**目を引くダイナミックさを動画に追加できるよう、「テキストアニメーター」が、キーフレーム、式、柔軟なコントロールを完全サポートし、タイトルやテンプレートに活用できます。
- **強化されたベクターワークフロー：**SVG を編集可能なネイティブシェイプレイヤーとして読み込めます。Adobe Illustrator からの読み込みにおいてもグラデーションや透明度が編集可能な状態が保たれるため、デザイナーはベクターに忠実で、塗りつぶしや刷毛の高度なコントロールを維持したままアニメーションを作成できます。

文化を形作るストーリーテリングの未来を推進

今回のアップデートにより、サンダンス映画祭をめざす映画制作者にとってもはや不可欠なアドビのクリエイティブツール群の機能がさらに拡充されます。サンダンス・インスティテュートの年次調査によれば、2026 年出品作品の 85%で、Adobe Premiere、Frame.io、Adobe After Effects、Adobe Photoshop、Adobe Substance 3D Collection を含む Adobe Creative Cloud アプリケーションが使われています。2026 年サンダンス映画祭では、『*Chasing Summer*』、『*Wicker*』、『*The A.I. Doc: Or How I Became an Apocaloptimist*』、『*Union County*』、『*Zi*』、『*The Moment*』、『*The Brittney Griner Story*』を含む数多くのプロジェクトで Adobe Premiere が使われています。

Film & TV Fund に約 1000 万ドルを拠出、次世代クリエイター支援を強化

アドビは次世代のビデオプロフェッショナルやクリエイターのキャリアを支援するため、「Adobe Film & TV Fund」を通じて 1000 万ドルの資金と製品寄付を行いました。2024 年に基金を開始してから 3 年間で計 2000 万ドルの資金と製品寄付を行ってきています。本基金は、Gold House や

Rideback RISE、Sundance Ignite プログラムなどの参加者に、助成金、プロフェッショナル動画編集ツール、キャリア開発、フェローシップ、職業訓練、トレーニング機会を提供しています。今後もサンダンス映画祭をはじめとする舞台で公開される作品の価値を高めるため、業界の主要パートナーシップへの投資を継続するとともに、キャリアの転換点となるような機会やそれを実現するプラットフォームを提供していきます。

また、サンダンス・インスティテュートとの提携により、アドビは「Ignite Day」を開催します。18～25 歳の新進クリエイターを対象としたこのプログラムでは、実践的な学習、メンターシップ、創造的な交流の場を提供し、若手ストーリーテラーが交流を深め、実験を重ね、アイデアを形にする道筋を探りながら、現実の業界に対する理解を深めることができます。

Adobe Premiere および Adobe After Effects 26.0 リリースの詳細については[こちら](#)、サンダンス映画祭におけるアドビの活動については[こちら](#)（英語）、Adobe Film & TV Fund については[こちら](#)（英語）をご覧ください。

価格と提供開始時期

Adobe Premiere、Adobe After Effects、Adobe Firefly ボードの新機能は今週提供開始予定です。

■「アドビ」について

アドビはデジタル体験を通じて世界に変革をもたらします。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト（<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>）をご覧ください。

© 2026 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.